

# あいちの印刷

# 8

2007.8  
No.429



開田高原

も  
く  
じ

巻頭言「企業防災推進ネットワークモデル事業」 / BCP(企業継続計画) 副理事長 細井俊男 ...	1
中部地区印刷協議会・平成19年度上期会議 .....	4
平成19年度経営革新委員会事業 第1回企業見学会 / 報告 .....	6
愛印工組・環境委員会 「印刷会社の環境対応 ～攻めと守りの環境対応セミナー～」 .....	8
再生紙再編のポイントと印刷産業の対応 .....	9
平成19年度7月期理事会 協同組合 / 支部再編 / インターシップなど審議 .....	10
ソイシール、今後も継続使用が可能に。 アメリカ大豆協会が方針を変更 .....	10
身近な催し物のお知らせ .....	11
「四日市モダン再見～懐かしくて新しい四日市の 広告～展」 / 本の紹介 / 事務局だより .....	12

## 「企業防災推進ネットワークモデル事業」 / BCP(企業継続計画)

副理事長 細井 俊男

先日、新潟中越地方で震度6を記録する大地震が起こり各地で多くの方が亡くなられたり、家をなくされたり、被災地の復興も時間がかかっています。被災地・被災者の方達の日も早い復興をお祈りしております。

さて、その中で日本の産業をリードする自動車産業ですら、トヨタ自動車を含めて何日間かの操業停止に追い込まれており、また原子力発電所にも一部きちんとした防災マニュアルが無かった事がわかりました。地震など災害はいつどこで起きるかわかりません。皆さんの会社に防災マニュアルはあるでしょうか？災害を想定した訓練は行われているのでしょうか。

この度、愛知県印刷工業組合では、愛知県防災局と協力して、「企業防災推進ネットワークモデル事業」を組合事業として経営革新委員会を取り組むことと致しました。組合、関連企業が連携して災害対策に取り組むことにより、個々の企業を取り巻くリスクの軽減、事業継続(BC)に取り組む際の負担を軽減する方策について検討するモデル事業を実施し、今回実施したモデル事例を組合企業に広く普及啓発することで、事業継続計画(BCP)策定の推進・普及に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願

いたします。

さて、経営革新委員会では、工場見学会に平成19年7月13日・14日の二日間で印刷機械メーカーのリョービ様・流通印刷大手の㈱アスコン様へ行ってまいりました。定員30名のところ多くの参加希望を頂き、ありがとうございました。最終的には、35名ご参加いただきました。特にリョービ様には第一日目にたいへんお世話になり本当にありがとうございました。広島東工場は本当にきれいで整然とした中での作業は、よい製品を造る原点であると思えました。また、デモンストレーションによる印刷機械の説明会も見学者の注目を集めやはり「百聞は一見に如かず」で、フルオート・フルデジタルの高付加価値印刷を深く印象付けました。また㈱アスコン様では会社見学の後たいへんお忙しい中を林 征治社長にご講演をいただき本当にありがとうございました。

見学会は、単に企業を見学するだけではなく、組合員相互の親睦・情報交換においても、重要な機会と考えております。最近は若い方の参加も多く楽しいものになったのではないかと思います。

「印刷寺子屋」のご参加お待ちしております。

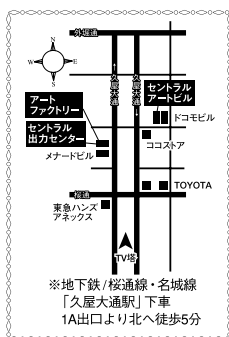


東海地区最大級!!  
**画材・額縁  
絵画・装裱**

セントラル画材株式会社

名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル  
【代表】tel 052-951-8998 fax 052-951-8997

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



※地下鉄/桜通線・名城線  
【久屋大通駅】下車  
1A出口より北へ徒歩5分



必ず貴方の仕事の力になります



### CENTRAL GROUP

- (株)セントラルグラフィックセンター/営業部  
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル5階  
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-950-4456
- セントラル 出力センター  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階  
Tel: 052-953-9629 Fax: 052-951-2641  
DTP出力・大型カラー出力(ポスター・屋外対応プリント他)

- (株)セントラル画材(株)/企画営業部  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階  
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
- セントラル アートファクトリー  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階  
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993  
フレーム加工・看板制作等

- セントラル フレームセンター  
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル3階  
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518  
額装・松筒コレクション・フレーム・額縁販売
- セントラル アートギャラリー  
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル4階  
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516

経営革新・マーケティング分科会/報告者 北川和也委員(石川県工組常務理事)

当委員会では、二点について話し合いました。まず、第一点目は紙の値上げについてです。全印工連からは「卸商から値上げ要請が来ていると思いますが、まだ『イエス』と言わないように」との指示があったことを報告させていただきます。理由は供給過剰になってくるという見通しもあるからです。また、製紙会社は「絶対に上げる」と言っていますが、紙商の協力が難しい等で値上げが困難になるのではという見方もあるようです。このほか「紙の値上げは仕方がないが、流通で省力化が図れるのでは」という意見もありました。例えば、「包装紙はいらぬ」ということで、印刷機にそのまま積めるような状態で運んできてもらえば、包み紙は必要ありません。そういう努力を印刷会社と紙商がするわけです。そのようにすれば、経費をカットできます。紙の値上げ問題についての最終的な結論は、「できるだけ抵抗しよう」ということです。

もう一点は、日本印刷技術協会のセミナーについてです。「テレビ会議が行えるので、それを各県で利用できないか」という問いかけがありました。年間に50万円かかるそうで、負担が大きいので県も巻き込み、異業種も含めて実現できないかという問いかけでした。また、セミナーについては、全印工連のセミナーも七つの新企画が用意されていますので、ぜひ利用していただきたいと思っております。

教育・労務委員会/岡田邦義委員(愛知県工組教育・労務委員長) セミナーに関して、いま経営革新・マーケティング委員会からも発言がありましたように、新企画が7セミナー用意されています。教育・労務委員会では、「10年後の印刷メディア産業を考える～経営者は何をすべきか～」をテーマにしたセミナーを担当します。講師は日本プリンティングアカデミーの濱原彦学校長が務めます。大変参考になるセミナーですので、各県工組で実施していただきたいと思っております。人材育成セミナーに関しては、岐阜県工組が開催し、好評を得たということです。

労働関係法令では、労働基準法改正法案、労働契約法案、最低賃金法の改正案が審議中で、平成23年9月1日頃に施行になるとの予想です。パート労働者に対する厚生年金適用の拡大も同様です。

平成19年度各種講座・試験の実施計画ですが、印刷営業士認定試験は愛知県工組、管理印刷営業士認定試験は岐阜県工組が実施を予定しています。

環境委員会/三浦康彦副委員長(愛知県印工組環境副委員長) 環境問題は、最近、大きくクローズアップされています。当委員会では、各県工組の現状を報告していただきました。ISO14001の認証取得は大変な費用がかかります。そのために、「日印産

連が進めているグリーンプリンティング認定制度・GPマーク取得を検討しよう」という意見がありました。ISOとGPを比較すると、GPはISOよりも価格的に非常に安く取得できます。これを環境委員会で取り上げ、団体取得を目指すことになりました。それによって、業界内でも早く理解されるようになり、多くの企業に取り組んでいただけたと思います。10月に審査がありますので、岐阜県と愛知県で説明会・勉強会を行い、取得に向けて推進します。委員会では「GPは印刷業界に特化した認定制度なので、日印産連には官公庁及び民間企業並びに一般の人々にしっかりとアピールしていただきたい」という意見も出ていました。

組織運営委員会/楠行博委員長(富山県工組常務理事) 印刷産業の組織化状況ですが、昨年度は奈良県工組が1社増加しています。茨木、新潟、富山、



分科会報告

## 中部地区印刷協議会・上期会議

鹿兒島が現状維持、あとは、すべてマイナスです。前年度と比べて355社減っています。組合員の減少傾向に歯止めがかからず、5年後、10年後にどうなっているのか、それを予測する必要があるという話を前回の下期会議の時にさせていただきました。全組合員企業を訪問する実態調査は難しいと思っております。調査は、アンケートを取ることが目的ではなく、訪問してアンケート調査の形式を取りながら実態を聞き、また、私たちが組合活動を説明しPRすることが目的だと考えます。当県工組では、5年先はどうなっているのか、経営者の継承はどうするのか、デジタル化の進展、組合活動をどう思っているのかなど、会話形式で質問しながら、実態調査を進めていきたいと考えています。今年中に各支部を通して、やっていきたいと思っています。

「メディアユニバーサルデザイン」への協力については、全国青年印刷人協議会が推進しているMUDに対する組織運営委員会の協力だと理解しています。これについては、全青協中部ブロック協議会の大村一史会長に補足説明していただきます。

全国青年印刷人協議会中部ブロック協議会/大村

一史会長(石川県工組常務理事) 4月に岐阜市で開かれた全印工連の理事会で、全青協が取り組んでいた「メディアユニバーサルデザイン事業」を全印工連の正式な事業に格上げしていただき、正式なセミナーとして全国に向けて発信することになりました。これの手引書販売の案内をしております。色覚異常の人にどういふふうに見えるのか、その人たちにも見やすい印刷物をどうやってつくればいいのか、手引書はその啓蒙の冊子です。一つの目的はバリアフリーの印刷物をつくるという社会貢献です。また、中小企業がこのノウハウで大手企業に提案することにより、受注のチャンスが生まれる可能性もあります。バリアフリーの印刷物への取り組みは、利益を出せるということの一つのモチベーションとして、全青協は推進してきました。

まずセミナーを開いていただき、その話を聞いた



岡田邦義委員



三浦康彦副委員長



高井昭弘副会長

## 全体会議 分科会報告・意見交換

上で、MUDに対する理解を深めていただくこととなります。すでに、富山県工組の青年会、愛知県工組の青年会でセミナーを開講しました。そのほかの県工組にもセミナーを実施していただくことを切にお願い申し上げます。

安藤元一委員(岐阜県工組専務理事) 私も組織運営分科会で「メディアユニバーサルデザイン」の説明を聞かせていただきました。それで、全印工連の武石専務理事にお聞きしたいのですが、工組において、どの委員会が担当してセミナーを行うべきか、その指導をしていただきたいと思っております。

武石三平全印工連専務理事 「メディアユニバーサルデザイン」については、全青協の皆様方の熱い思いを聞き、全印工連事業の大きな柱の一つとして進めることになりました。実質的な運営は、全青協が中心になります。ただ、全国展開する上で、いろいろな問題がありますので、全印工連の森永伸博組織運営委員長に担当していただきます。その関係で、組織運得委員会が支援するという形になっています。

安藤委員 岐阜県工組には全青協に加入する青年会組織がないので、そのまま受け取れば、担当は組織運営委員会になってしまいます。しかし、事業と

して捉えた場合、組織の強化とかは全く関係ないと思うので、岐阜県工組としては教育・労務委員会を受け皿として考えています。これに関して、全印工連としての見解をお聞かせ下さい。

武石専務理事 それは全く問題ありません。たまたま、全印工連の組織運営委員会の所管になったというだけです。従って、各県工組の実情に合わせてMUDセミナーを展開していただければ結構です。

共済事業委員会/島山三恵子委員長(三重県工組専務理事) 協議事項で、なぜ共済事業が生まれたのか、そのルーツを考えてみました。やはり、成立の土台には、組合員の組合を愛する思いと、従業員を愛する思いがあると考えます。組合運営の大きな財源である共済事業を促進するという事は、どの県においても重要な課題であると認識します。そのために、共済委員会をもっと重要なポストと捉えていただき、リーダーシップのある人に委員長に就任してもらい、加入促進に尽力していただけたらどうでしょうか。愛知県工組に関しては、共済事業をパーフェクトに展開され、素晴らしい成果を上げられました。岐阜県工組も皆で協力し合って取り組まれるとのことです。

理事長会/須垣純夫富山県工組理事長 用紙値上げの問題について、今回も相当強硬なものになると思われます。値上げの理由について、原油の高騰、チップ・パルプの値上げ、古紙の高騰が挙げられています。短期間で見ると、この値上げは受けざるを得ないと思っております。全印工連の対応としては、浅野会長は「これを機会に印刷業界も価格転嫁を」と述べられています。いつまでも、受注競争による価格下落ばかりでは、最後には体力をなくしてしまいます。従って、こういう機会に業界全体で考えていく必要があります。用紙の値上げは、我々にとっても価格転嫁の一番良いチャンスだと思います。

総括/林初彦会長 今回の会議を振り返ると、大切な問題として、目前に迫る用紙値上げ、ISOであれGPであれ避けて通れない環境対応、そしてMUD、組合員減少の問題など、意味のある協議ができたと思っております。今日は長時間にわたって議論していただきましたが、その中で考えられたことをそれぞれの組合活動の中に活かしていただければ幸いです。

閉会挨拶/高井昭弘愛知県工組副理事長 次回の地区協下期会議は愛知県工組担当で、名古屋において開催させていただくわけですが、今日、私が感じたのは、岐阜県工組の林理事長の指導力のすごさです。この会議には岐阜県工組から20名が参加されています。愛知県工組が担当する時に何名出席してくれるかを思い返すと10名足らずが続いています。次回は、愛知県工組もオブザーバーとして多数の出席を得て議論を繰り広げたいと考えております。

平成19年度経営革新委員会事業、第1回企業見学会 / 報告

印刷機メーカーに対する認識の変化  
顧客側に立った提案システムの開発の強み

平成19年度第1回企業見学会を平成19年7月13日(金)~14日(土)の二日間にわたり実施し、25社34名が参加しました。

企業見学会開催にあたり経営革新委員会細井副理事長より、「経営革新委員会事業 企業見学会に参加していただきましてありがとうございます。初日はリョービ株式会社様、2日目は株式会社アスコン様を見学します。また、バスの手配や昼食、宿泊、交流会にご支援をいただきましたリョービ株式会社様には、厚く御礼を申し上げます。2日間の日程で短い時間ですが、ご参加頂きました皆様同士の交流、見学をとおして勉強していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。」と挨拶しました。

昼食時には、参加された方たちの自己紹介も行いました。



リョービ(株)広島東工場ショールームで

経営革新委員会  
箕浦靖夫(名鉄局印刷株)

一日目: リョービ株式会社様 広島東工場見学  
(広島県府中市目崎町762)

1943年12月創立

従業員数2,080名(グループ5,787名)

主要商品は、ダイガスト製品(68%)を中心に、印刷機器(20%)、パワーツール・建築用品(12%)の事業を展開。

リョービ株式会社代表取締役箕浦上彰様より企業理念、沿革、今後の移り変わる展望、環境取り組みなど説明して頂きました。企業理念では、技術、信頼、挑戦を事業活動の基盤とし、健全なる企業、活力あふれる企業として成長・発展し続け、社会に貢献していきます。また、「くらしごこち」をテーマにくらしの中にゆとりと豊かさを創造する「ものづくり」を通して、人々と社会の信頼のきずなを深めていきたい、と語られました。

今後の展望では、変えていかなければならない事と変えてはならない事も熱く語られました。

このあと、リョービ株式会社執行役員堂本秀樹様より、スクリーンを使い会社概要、工場設備、ダイガスト製品、印刷機器、パワーツール・建築用品の説明を受けてから工場見学に入りました。

工場見学では、45分にわたり印刷機のできる製造工程を見学し、60分ほど印刷機デモをショールームで見学しました。印刷機デモでは、RYOBI 780E、750、520シリーズを見学しニスコーティング、UV乾燥装置、エンボス調加工を実際に操作していただき、手に取り実感しました。



リョービ(株)様の見学を終えて(正面玄関で)



(株)アスコン様の見学を終えて

二日目: 株式会社アスコン様 見学  
(広島県福山市港町1丁目15番27号)

1986年10月1日設立

従業員数288名

データベース事業、デジタルシステムコンサルティング、各種出版物の企画制作、商業印刷物全般、各種印刷物の企画制作、販売促進企画の立案・実施、広告代理店業全般を展開。

株式会社アスコン取締役第二事業部長中原貴裕様より青山商事様との関係について次のように話していただきました。「青山商事様の仕事をしている部署は、主に第一事業部でDM、チラシを受け持っています。売り上げは年商105億円の3分の1にあたる35億円程です。チラシは、毎週全国で2500万枚を発行しており、弊社で制作したデータを全国に電送し、各拠点で印刷していただいております。

また、全国展開を生かし食品スーパーとドラッグストアをターゲットにデータベースを作り、毎日300~400点を撮影し登録して営業活動を行っております。

食品スーパーでは100社2000店舗、ドラッグストアでは2000店舗とお付き合いをさせていただいており、チ

ラシ・DM・店内ポップを中心にいただいております。また、社内でソフト開発も行っております。

中原貴裕様の説明後、社内見学に入りました。社内見学では、3チームに分かれ、1階 第一事業部(青山商事様専属部署40名)。2階 データベースサーバールーム、店内演出物展示。3階 システム開発、校正編集室、データベース管理、営業部。4階 制作部(MAC中心の24時間体制)を見学しました。

また、加工部所が仕事上の関係で入ることが出来なかったため、中継機、無線機、折り圧着、PP貼り、UVニス加工、宛名印字などの説明を受けました。

昼食の席には、株式会社アスコン代表取締役社長林征治様と株式会社アスコン取締役第二事業部長中原貴裕様に同席していただき、質疑応答形式でお話をお伺いしました。質疑応答時には、活発な意見も沢山出て盛り上がる事ができました。

今回の企業見学会を通じ、リョービ株式会社様の印刷機メーカーに対する認識が変わったと共に、株式会社アスコン様のお客様側に立った提案、システム開発の強みを見学することができ、有意義な見学会となりました。

そして、本見学会にご高配賜りましたリョービ株式会社様への感謝の言葉で締めくくり、経営革新委員会事業 企業見学会を無事終了しました。

**SCREEN MEDIA TECHNOLOGY** **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新のコアテクノロジーでCTPをサポートするインテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応インテリジェントRIP  
**Trueflow**

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

四六半判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite4300**

四六全判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite8600**

**株式会社メディアテクノロジー ジャパン**  
本店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>  
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

**大日本スクリーン製造株式会社**  
メディアテクノロジーカンパニー <http://www.screen.co.jp/>  
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

**OLIVER496SD** 菊全判4色印刷機

**大型多色SDシリーズ 第一弾** **オールインワン** 最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

**Sakurai**  
株式会社 桜井グラフィックシステムズ  
<http://www.sakurai-es.co.jp>

本社  
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9  
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所  
〒451-0084 名古屋市中区上郷町2-9-1  
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所  
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31  
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所  
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8  
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001・14001 認証取得  
品質保証体制



**愛印工組・環境委員会  
「印刷会社の環境対応**

**～攻めと守りの環境対応セミナー～**

7月4日(水)午後2時より、名古屋都市センター14階・特別会議室において、環境セミナーが開講されました。このセミナーは愛印工組の環境委員会(鈴木正博委員長)が担当し、寺田勝昭氏(P&Eマネジメント代表/全印工連環境委員会特別委員)が講師を務め、「印刷会社の環境対応～攻めと守りの環境対応セミナー～」をテーマに行われ、22社34名が聴講しました。

セミナーに先立ち、鈴木委員長が次のように挨拶しました。

「私が寺田先生と最初にお会いしたのは、ちょうど1年ほど前の全印工連の環境委員会の時でした。私は中部地区協の環境委員長として出席し、そこで寺田先生とお話しする機会を得ました。話をお聞きし、『GPマークは取得しなければならぬ』と考え、先生からいろいろのご指導を受けて取り組み、取得することができました。その取り組みの中で、先生は『GPマークを印刷業界の基準にしていきたい』と非常に熱く語られました。この先生の意気込みに私は感動しました。『印刷業界にも、こういう素晴らしい人がいる。こういう人がいるから、印刷業界は発展してきたのだ』と確信した次第です」

「最近、『環境行政』『社会的責任』という言葉をよく耳にします。この会場に集まれた皆様方は、その重要性を考え、素晴らしい対応策を見つけるために、このセミナーに参加されたのだと思います。今日は、印刷会

社の環境対応と、再生紙再編の話聞くことになっています。経営を続けていく上で、非常に大きなポイントになる話をいただけるはずですので、私も一所懸命勉強させていただきます。皆様の社業に少しでも役立てば幸いです」

続いて、セミナーに移り、寺田氏が講師を務め、約2時間半にわたって講演が行われました。

寺田氏は、印刷産業の環境問題、法規制への対応、環境保全の推進(公害防止)、印刷業界の取り組み(グリーン基準とグリーンプリンティング認定制度)、

購入資材のグリーン化、再生紙再編のポイント、製造工程のグリーン化、環境経営への取り組み、コンプライアンス(法遵守)の順に解説し、守りから攻めの行動(営業主体のグリーン経営)に移ることの重要性を説きました。



**愛印工組・環境委員会  
GP認証取得説明会を開催**

**13社16名が熱心に聴講**

7月6日(金)午後6時より、愛知県印刷会館3階・会議室において、環境委員会の担当で「グリーンプリンティング(GP)認証取得説明会」が開かれました。講師は(株)アサヒグラフィックスの石橋智章CSR推進室室長が務め、13社16名がGP認証の取得に関する説明を拝聴しました。

石橋氏は「グリーンプリンティング認定制度の概要」をまず解説。これは日印産連が創設した印刷業に特化した制度で、印刷業界の環境配慮自主基準「グリーン基準」

**再生紙再編の  
ポイントと  
印刷産業の対応**

**「再生紙指定のお願い文」**

〇〇〇年〇月〇日  
〇〇〇印刷工業組合連合会  
環境委員会  
委員長 山崎 貴仁  
〇〇〇印刷工業組合  
理事長 山崎 貴仁

印刷ご発注時の再生紙指定に関するお願い

皆様、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、御用会社様には百表りサイクルに加え、地球環境負荷低減の観点から、古紙パルプ100%配合紙の生産量と印刷用紙の古紙パルプ配合率を大幅に引き上げるなどの再生紙製品の積極的な活用を、一社のグリーン購入活動の取組も兼ねてお願い申し上げます。  
私ども印刷業界では、環境配慮の観点から、業界独自の環境自主基準を設けるなど環境にやさしい業界として、お客様ニーズに合わせた印刷サービスを提供しておりますが、このたびの御用会社様による再生紙製品買増しにより、今後の印刷物(発注に際し、印刷用紙の古紙パルプ配合率を指定いただいた場合、土壌汚染製品が激し、あるいは製造量が減少し、調達が難しいなどの事態が懸念されます。  
このことをご事情をお察しいただき、印刷ご発注時の再生紙指定につきましては、事前に印刷会社にご相談いただくなど、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

敬具

日本製紙に続き、北越製紙や三菱製紙が代理店及び大口顧客に対して再生紙再編について告知しました。その主なポイントは次の通りです。  
実施時期(但し契約物件、個別銘柄については別途相談、原則?)  
R100は平成19年7～9月までに生産終了  
A2、A3の古紙70%以上配合(グリーン購入法対応)はなくなる  
原因(変化している!)  
中国の輸入増加、国内各社のDIP設備(古紙パルプ製造設備)の増加により、古紙の供給不足(競争が激しくなった)

回収古紙の品質低下  
自社設備の統廃合による大型設備の稼働で高配合が困難(小型で古紙の高配合が可能な設備の停止)  
R100に代表される古紙高配合の要望が根強くある(市場ニーズ)  
工程の強化で歩留まりが悪化し、古紙パルプの利用可能量が低下  
温暖化効果ガスの二酸化炭素が削減できる  
このような再生紙の状況を踏まえ、全印工連では、上記のような「お願い文」の例文を用意し、組合員の利用を呼びかけています。

を踏襲し、一定水準以上の基準を達成した印刷工場を認定するものです。そして、その認定工場が製造したグリーン基準に適合する「印刷製品」にGPマークが印刷できます。取得までの手順は、申請 書類審査 現地審査 認定審査 認定という形になります。概要説明のあと、石橋氏は、「他の環境マークとの比較」「ISO14001と

比べて非常に安価に取得可能」「認定に至るまでの取り組み」「認定取得の効果」「注意点」「取り組み必須事項と書類に確認」について解説しました。  
この説明会に参加することが認定勉強会参加への条件になり、認定取得を希望する企業は8月4日、9月1日、9月29日の3回の勉強会を経て、10月の審査会を目標に

**これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。**

**SHINOHARA 75 VIHP**

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所  
本社 〒420-0813 静岡県長沼596番地  
TEL(054)261-2141 FAX(054)262-6279  
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147  
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

KONICA MINOLTA

プロフェッショナル新潮流デジタル化によるスキルレス時代の到来

**プリンターの生産性と低コスト**

- A4/51枚 1分当り**  
A4フルカラーを最大51枚(A4)/分  
A4フルカラーが最大51枚/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。
- 多種用紙対応**  
近似した再現性と多彩な用紙での出力  
画像・文字再現に忠実なカラーブルーフが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。
- A3 Wide**  
A4トンボ付を2面付の出力サイズ  
印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。

**ブルーナーの実用性と再現力**

**重合法トナー**  
高い画像・文字品質を実現  
一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。

**再現性**

**Pagemaster Pro**  
ハイクオリティカラーレーザーブルーナー

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社  
本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 / TEL:03-5297-5602(代)  
名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋ビル10F / TEL:052-231-6277(代)



## 平成19年度7月期理事会・支部長会

協同組合 / 支部再編  
/ インターシップなど審議

持出理事会は9月14日(金) 鳥羽市で開催

平成19年7月18日(水)午後3時30分から、愛知県印刷会館3階・会議室で、26名の出席により、7月期理事会・支部長会が開かれました。

白井統一理事長の挨拶で始まり、同理事長が議長を務め、議事が進められました。以下、その審議内容の要旨です。

### 1) 組合員の加入について

㈱メディアテクノロジージャパン(中支部)の加入が承認されました。

### 2) 愛知県印刷協同組合の件について

7月25日(水)に理事会が開かれ、その後の運営を検討することになる旨、白井理事長から説明がありました。

### 3) 支部再編の件について

廃支部支部員の所属支部は、廃支部支部員の希望

で所属先が選択できることが説明されました。

### 4) あいち造形デザイン専門学校の件について

あいち造形デザイン専門学校から、見積りも含めて学生に指導してほしいという要請があり、愛印工組としてサポートしていく方針が示されました。

### 5) インターンシップの件

愛知工業大学、愛知淑徳大学からインターンシップ研修生受け入れの要請があったことが報告され、研修生受け入れ希望企業は事務局に申し出れば手続きが説明されます。

### 6) 今後の事業等、日程について

環境委員会事業

「GP認定工場・認定取得勉強会」(3回シリーズ)  
= 第1回: 8月4日(土)午後1時~午後5時、第2回:  
9月1日(土)午後1時~午後5時、第3回: 9月29日(日)

## ソイシール、今後も継続使用が可能に。アメリカ大豆協会が方針を変更

本誌6月号において、「ソイシール」廃止へ、米国大豆協会・使用許諾業務を終了」とのタイトルで、ソイシールの使用が終了する旨の報告を致しました。この件につきまして、全日本印刷工業組合連合会では、各工組ならびに地区印刷協議会で「ソイシール使用許諾契約終了」の周知を図りました。その後、アメリカ大豆協会から、使用継続を求める企業が多いため、との理由で、7月11日付け文書で、「ソイシール使用許諾契約を継続する」旨の連絡が全印工連に届きました。これにより、今後も継続して大豆油インキを使用した印刷物には、ソイシールを使用することが可能になりました。アメリカ大豆協会から届きました文書は以下のとおりです。

アメリカ大豆協会・ソイシール使用許諾契約継続の件

本年3月7日付け文書で、弊協会米国本部が商標権を持つ「ソイシール(3種類)」の使用許諾契約業務を2008年9月をもって終了する方針をお伝え致しました。

しかしながら、この方針につきまして広く意見を求めましたところ、多くの企業の皆様より継続のご要望を頂戴しました為、弊協会は方針を変更し2008年10月以降も、契約業務を継続することで正式に決定致しました。

これに伴い、2011年8月末に満了となるソイシール商標権の更新手続を進めますので、以降もソイシールを使用していただくことができます。

ご了解の程、よろしく申し上げます。

今後も継続して、大豆インキを使用した印刷物には、ソイシールを使用することが可能となりました。

午後1時~午後5時、会場: 愛知県印刷会館3階・会議室

技能検定試験

「実技試験」= 7月14日(土)タナカ印刷㈱、7月22日(日)長苗印刷㈱春日井工場、7月28日(土)西川コミュニケーションズ㈱GAC、7月28日(土)㈱奉仕堂印刷、7月29日(日)㈱プリンター、8月5日(日)㈱アサヒグラフィックス

「学科試験対策学習会」= 日時: 9月1日(土)午後1時30分~午後5時30分、会場: 名古屋市中小企業振興会館

「学科試験」= 9月2日(日)

「合格発表」= 10月10日(水)

マーケティングセミナー

「プロデューサーのためのプロジェクト管理術」(平成18年度に実施したセミナーの追加実施です)  
= 日時: 8月4日午後1時30分~5時30分、会場: 名古屋市都市産業振興公社(ナディアパーク)、講師: 田中信一氏(㈱ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役)

「業態変革推進プラン - 全印工連2008計画 - 第3ステージ 新創業 “業態変革5Doors”」= 日時: 9月12日(水)午後6時30分~8時30分、会場: 栄ガスビル、講師: 水上光啓氏(水上印刷㈱代表取締役社長)

経営革新委員会勉強会

第3回印刷寺子屋「業態変革のススメ」= 日時: 8月6日(水)午後7時~8時30分、会場: 愛知県印刷会館、講師: 桜井隆太氏(㈱桜井グラフィックシステムズ代表取締役社長)

第4回印刷寺子屋「特殊印刷のいろいろ」= 日時: 9月3日(月)午後7時~8時30分、会場: 愛知県印刷会館、講師: 村田宏基氏(大同紙工印刷㈱専務取締役)

教育・労務委員会事業

「従業員・家族合同レクリエーション大会」= 期日: 10月21日(日)、行き先: 薩埵(さった)峠~由比宿ハイキングコース(静岡県)

組織・共済委員会事業

「永年勤続優良従業員表彰」= 表彰日: 11月1日(木)、伝達式: 10月31日(木)

次回理事会

「持出理事会」= 開催日: 9月14日(金)~15日(土)、会場: エクシブ鳥羽&アネックス(三重県鳥羽市安楽島町二地169-2、電話0599-26-4400)、スケジュール: 午後3時30分~理事会、6時~交流会

## 身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
9月1日(土) 9月29日(土) 13:00~17:00	事業・行事 GP取得勉強会(愛印工組環境委員会) 場所 愛知県印刷会館3階 会議室 ・3日間のコースです(第1回目は終了しました。)
9月1日(土)	事業・行事 技能検定 学科試験対策学習会 場所 名古屋市中小企業振興会館4階 ・第1会議室(1級クラス) ・第4会議室(2級クラス) ・技能検定(オフセット印刷作業)学科試験受験者を優先受付いたしますが、一般参加も若干募集しています。
9月3日(月) 19:00頃 ~21:00頃 (予定)	事業・行事 第4回印刷寺子屋(愛印工組経営革新委員会勉強会) 場所 愛知県印刷会館3階 会議室 ・講師: 大同紙工印刷㈱ 専務取締役 村田宏基氏 ・テーマ: 特殊印刷のいろいろ ・参加費無料・定員20名 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
9月12日(水) 19:00 ~20:30 (予定)	事業・行事 業態変革推進プラン-全印工連2008計画-第3ステージ「新創業」説明会 場所 栄ガスビル5階会議室 講師: 水上印刷㈱ 代表取締役 水上光啓氏 参加費 組合員: 一人2,000円 一般: 一人3,000円 テキスト「業態変革推進プラン-全印工連2008計画」*1冊1,000円(参加費に加えて申し受けます)お手持ちの方はご持参いただければ結構です。
9月14日(金) ~ 9月15日(土)	事業・行事 持ち出し理事会 場所 三重県「エキシブ&アネックス鳥羽」 理事会pm15:30 懇親会pm18:00 (尚9月15日(土)有志による懇親ゴルフ開催されます)
10月13日(土)	事業・行事 第5回印刷寺子屋 場所 新日本印刷㈱ 瑞浪工場(南大六印刷(高山市)) 上記2社の見学です。参加費は無料。但し、交通費、宿泊費等実費自己負担。定員20名様程度 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
10月21日(日)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会(雨天決行) 場所 さった峠~由比宿ハイキング(静岡県駿河湾沿い) 参加費 大人一人 3,500円(中学生以上) 子供一人 2,500円 *いずれもお弁当を含んでいます。 *座席とお弁当が不要な幼児は無料です。
10月31日(水)	事業・行事 平成19年度 永年勤続優良従業員表彰伝達式 場所 愛知県印刷会館3階 会議室 会長及び理事長表彰(10年以上表彰) 県知事表彰(15年表彰) 表彰日は11月1日です
11月7日(水) 18:00 ~20:30	事業・行事 第3回マーケティングセミナー「広告業界のコンテンツ戦略(仮称)」 場所 栄ガスビル5階 会議室 講師: 電通CRMマネジメント局マネジメント計画部 沼澤 忍氏 参加費等詳細は調整中
(平成20年) 1月11日(金)	事業・行事 平成20年 新春 印刷と関連業界新年互礼会 場所 名古屋東急ホテル (詳細は調整中)
(平成20年) 2月16日(土)	事業・行事 印刷営業講座 *受講資格=一般印刷の営業実務経験1年以上の者 場所 愛知県印刷会館3階 会議室 2月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、3月1日(土)、2日(日) ・土曜日: 13:00~18:00 ・日曜日: 10:00~16:00 (受講料は調整中)
(平成20年) 3月8日(土) 10:00 ~16:00	事業・行事 印刷営業技能審査認定試験 *受講資格=一般印刷の営業実務経験2年以上の者 場所 未定(名古屋市内) ・10:00~10:30=注意事項、説明等 ・10:30~11:30=知識試験 ・12:30~16:00=見習技能試験(受講料12,600円)



「四日市モダン再見~懐かしくて新しい四日市の広告~展」

四日市印刷工業(株) (山口薫社長) は、「四日市モダン再見~懐かしくて新しい四日市の広告~展」を8月28日(火)まで、三重県菟野町「パラミタミュージアム」において開催しています。

同社は、第二次世界大戦での空襲の被害、また、伊勢湾台風による水害の被害をまぬがれ、数多くの貴重な資料が残されました。この残されたコレクションの中から、郷土・四日市市より発信された昭和初期の広告、写真、更に、明治時代に輸出用の茶箱に貼られた「茶ラベル蘭字」などが公開されています。

「茶ラベル蘭字」は、同社の前身である「木版印刷山口堂」に

いて制作されたものです。明治初頭に地元の名産品「伊勢茶」が四日市港から主にアメリカに向けて輸出されており、その茶箱に「蘭字」と呼ばれるラベルが貼られました。茶箱を飾った「蘭字」には、斬新な色彩を用いて海外に向けて考案したと思われる日本をイメージした絵柄が描かれています。

会場には、「蘭字」以外に、昭和初期の広告(四日市の商店、鉄道と行楽、懸賞広告)、昭和初期の写真などが展示されています。

印刷人必見の展示会といえますので、是非お出掛けください。

会場となっているパラミタミュージアムは、近鉄湯の山線「大羽園駅」下車。西へ300 m。

## 本の紹介

「デジタルソリューションシステム07」

発行 = ニュープリンティング(株)  
(TEL03-3264-2054)

体裁 = A4判・200頁・並製本  
定価 = 2,100円(税込み)。

本書には、CIP4/JDF、CTP、デジタル印刷、CMS、セキュリティなど、クロスメディアビジネス、全体最適化のための最新技術動向とベンダー各社のソリューションが掲載されている。印刷関連会社の業態変革とデジタルワークフローの全体最適化を目指す参考書となっている。



「印刷現場の予防保全」

著者 = 川名茂樹。

発行 = 印刷学会出版部 (TEL03-3555-7991)

体裁 = A5判・240頁・並製本  
定価 = 2,940円(税込み)。

本書は、月刊誌「印刷雑誌」に連載し、好評を得た「顧客感動を呼ぶ印刷機械の予防保全」を単行本化したもの。予防保全に必要な技術論から心構え、成功事例や失敗事例の紹介の他保全チェックシートなど、実用的な図版も多く収録、現場スタッフだけでなく、経営者にも参考となる一冊である。

著者は、小森コーポレーションで、予防保全チーフアドバイザーとして活躍している。

## 事務局だより

蝉の鳴き声が賑やかになり、夏本番を迎えました。暑い盛りは何かと体力を消耗します。夏バテしないよう体調管理に気を付け、この夏を乗り切りたいものです。

夏バテ解消に鰻が推奨されています。この地方の一色や浜名湖などの鰻は名が通っていますが、スーパーなどにいきますと中国産の鰻が幅をきかしていました。ところがここに来てすっかり中国産がなくなっています。有害物質が入っているとのことで敬遠されているようです。鰻に限らず何かと中国産は信頼が薄くなっているようです。

今月の23日に愛知県印刷産業団体連絡会のビアパーティが名古屋国際ホテルで開かれます。

「あいちの印刷」

No.429

平成19年8月10日発行

発行人 白井 紘一

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771(代表)

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)